

新型コロナ・オミクロン株

世界的に新型コロナウイルス・オミクロン株が猛威を振るっています。上越をはじめ日本全体もコロナ感染者が増加しているニュースを見て、とても心配しています。日本のニュースでも報道されていますが、上海でもオミクロン株が発生し、建物の急な閉鎖や突然の隔離があります。指示があれば必ず従わなければなりません。そのお陰もあり、時々コロナ感染は発生していますが、その場で抑えられていて、上海で大規模な感染は起きていません。

北京2022冬季オリンピック開幕

北京オリンピックが2月4日から始まります。北京から南へ1000Km以上離れている上海でも地下鉄のモニターなどで大会の宣伝が流れるなど、オリンピックムードが漂っています。

日本のニュースでは、オリンピック会場の徹底したコロナ対策を伝えていますが、その様子は決して大げさではなく、上海でも出入国に関して、職員は全員防護服ですし、省をまたぐ移動をする場合は、全員PCR検査の陰性証明が必要です。したがって、病院のPCR検査場はいつも長い行列ができています。

北京オリンピックの感染対策は完全なバブル方式で、選手や報道陣は一般市民と一切関わられません。その中、日本のアナウンサーが、バブルの境界で10m離れた場所にいた一般市民に、大声でインタビューした内容が放送されていました。そのアナウンサーが一般市民にインタビューした感想について「中国と日本には政治的にいくつかの課題がありますが、

一般市民はとてもフレンドリーで、日本人である私たちに対してもとても優しく、友好的です！」と述べていました。

これは私が上海で中国人の皆さんと関わってきた中で感じている感想と同じです。

北京オリンピックの報道で、日本の皆さんに今の中国を少しでも理解してもらい、日本と中国の友好がさらに深まることを願っています。



北京オリンピックの公式マスコットの「ビンドゥンドゥン」(左)と
パラリンピック マスコットの「シュエ・ロンロン」(右)

私が仲良くさせていただいているマスコットキャラクターの箱を作っている会社の中国人の社長さんから、私の息子にとプレゼントしていただきました。